

平成28年度 土砂災害防止功労者表彰 一覧

資料2

【個人】

推薦団体	氏名	審査基準	概要
関東地方整備局	中川 光熹(77歳) 比叡山安楽律院・日光山興雲律院 住職 日光市文化財保護審議委員会 会長 環境省 自然公園指導員 日光の子どもに歴史を伝える会 代表	(3)土砂災害防止思想の普及	・平成12年から日光市等が主催する「日光ツーデーウォーク大会」において、子供たちが土砂災害、砂防設備、歴史的建造物等を紹介する子供ガイドの取組を長年にわたり実施。 ・「キャンプ砂防in日光」において、平成11年から、砂防を志す学生たちを対象にした日光の災害と歴史に関する講義を行ってこられるなど、土砂災害防止思想の普及に貢献。

【団体】

推薦団体	団体名等	審査基準	概要
宮城県	滝の入2区自主防災組織	(3)土砂災害防止思想の普及 (4)警戒避難体制の整備	・組織設立当初から防災マップや要支援者名簿を独自に作成。 ・長年にわたり防災訓練や研修会の開催などの活動を通じて地域住民の土砂災害警戒避難体制を構築するなど、土砂災害防止意識の啓発や警戒避難体制の整備に貢献。
福島県	南会津町消防団	(1)地域住民の生命又は身体の保護 (2)被災者支援	・平成27年9月「関東・東北豪雨」の際、警戒体制を迅速に整え、土砂災害危険箇所のパトロールや情報収集を的確に行った。また、対策本部への情報伝達や、住民への広報や避難誘導を実施し、町内の人的被害をゼロに抑えるなど被害の軽減に貢献。 ・土石流等で被災した家屋周辺の土砂や流木等の撤去作業も連日行うなど、復旧作業(被災者支援活動)でも貢献。
長野県	長野県砂防ボランティア協会	(2)二次災害の防止	・平成26年7月に発生した木曾郡南木曾町梨子沢流域での土石流災害時に梨子沢周辺溪流で二次災害防止のため緊急点検を実施。 ・平成26年11月に発生した長野県北部を震源とする地震災害時に、震度5強以上が観測された地域を対象として二次災害防止のため緊急点検を実施。 上記2つの災害時における調査結果が、二次災害の防止や警戒避難、復旧作業に役立てられた。
岡山県	岡山県砂防ボランティア協会	(2)二次災害の防止 (3)土砂災害防止思想の普及 (6)土砂災害防止施設の点検等	・平成18年から継続して、小・中学校や地域の防災教室などに講師を派遣して出前講座を開催 ・平成21年から継続して土砂災害防止施設等の点検を実施 ・平成25年9月に総社市で発生した土砂災害時に危険箇所の点検を実施し、その結果を関係機関へ連絡し二次災害防止に貢献。
岡山県	総社市三ツ木自治会	(5)砂防施設の美化・清掃	・平成6年から長年にわたり「井風呂谷川砂防公園」の清掃・草刈り・巡回等を実施し、砂防施設の維持管理に貢献。 ※【井風呂谷川砂防公園】は全国でも最初期の砂防学習ゾーンモデル事業として整備された公園であり、明治期の石積堰堤を保存しながら、周辺整備を行い、自然の中で砂防に対する先人の知恵や工夫を学べる空間となっている。 園内にある井風呂谷川3号堰堤は、平成14年3月に国の登録有形文化財となった。
広島県	砂防ボランティア広島県協会	(2)二次災害の防止 (3)土砂災害防止思想の普及	・平成26年8月の広島土砂災害では、発災後速やかに被災地域へボランティア調査員を派遣し、土石流発生溪流及びがけ地崩壊箇所の現地調査を迅速に実施し、危険箇所の実態把握に貢献。 ・平成17年度から出前講座を開始。広島県が実施する、生徒(小中学生が対象)自らが取り組むハザードマップ作成作業を平成24年から支援を開始し、若い世代に対して防災意識の普及啓発及び防災施設の効果や土砂災害防止の重要性等を伝える活動に尽力。 ・「土砂災害伝承」の推進に向け、平成20年度から石碑調査を開始し、さらに平成26年度から市町村史の土砂災害記録調査など新たな試みを開始するなど活動の幅を広げている。
愛媛県	愛媛県砂防ボランティア協会	(3)土砂災害防止思想の普及 (6)土砂災害防止施設の点検等	・毎年土砂災害危険箇所のパトロールを実施し、愛媛県や危険箇所の住民に対して土砂災害防止に関する的確な助言を行っている。 ・毎年小中学生やその保護者、更には地域住民などを対象とした砂防学習会を開催
佐賀県	佐賀県防災・砂防ボランティア協会	(6)土砂災害防止施設の点検等 (8)土砂災害防止に顕著な成果	・毎年6月から7月の雨季前かけ、支部毎に、県や市町の担当職員とともに、土砂災害危険箇所の点検などを実施 ・平成26年度の広島市における大規模土砂災害を受け、住民説明会に積極的に参加し、警戒区域等の指定進捗に大いに寄与。
中部地方整備局	一般社団法人 東濃・木曾防災対策協議会	(2)二次災害の防止	・【平成26年7月 南木曾町における土石流災害における活動】 災害発生直後から自発的に被災集落の土砂撤去や清掃を実施。また、二次災害防止対策(土砂除去、ブロック・工事用道路設置等)を迅速に対応。 ・【平成26年9月 御嶽山噴火災害における活動】 平成26年9月に発生した御嶽山噴火災害時に二次災害防止対策(降灰が洪水等により土石流となることに対する対策)のブロック積み砂防堰堤を噴火発生後約1カ月で完成させるなど、非常に迅速な対応がなされた。

表彰式は、平成28年6月21日(火)に岡山県岡山市で開催する土砂災害防止「全国の集い」で実施予定